

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「地域トラベルサポーター」を活用した特色ある観光地づくり
事業主体 (連絡先)	諏訪地域トラベルサポート実行委員会 諏訪市小和田 14-7 諏訪商工会議所内
事業区分	6ア 特色ある観光地づくり 2 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,145,640 円 (うち支援金: 907,000 円)

事業内容

「旅をあきらめていた」障害者・高齢要介護者などを人的サポートのしくみ「地域トラベルサポーター」の助けを借りて、観光地周遊、温泉介助入浴など安全・快適に楽しみ、新しい観光顧客として迎えるために「モニターツアー」を実施、同時に「地域トラベルサポーター」の資質向上、おもてなしの心を醸成、観光施設、地域住民との交流を活発化させることで、「ユニバーサルツーリズム」を諏訪圏に定着させる。

又、諏訪圏の強みである医療・福祉連携を「観光」に生かし、「食の安全」「接遇」「リハビリ」などへ展開、観光客及び観光着地に「安全・安心」を周知させる。



【同行支援など】

【目標・ねらい】

- ①観光事例の増加
- ②観光客の増加
- ③関係者の範囲拡大・増加
- ④観光施設の範囲拡大・増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①前年度 8 件 今年度 16 件 2倍
- ②前年度 167 名 今年度 211 名 26%増
- ③前年度 100 名 今年度 560 名 5.6 倍
- ④前年度 10 ケ所 今年度 61 ケ所 6 倍

観光客の増加はもちろんの事、昨年までは高齢要介護者のみだったものが、障害者及びその家族に拡大したことが効果として大きい。又 諏訪圏で、観光関係者のみならず一般の方達にも「ユニバーサルツーリズム」に関する周知が進んだことも大きな成果であった。そういった点でも「セミナー」「ワークショップ」などの開催効果、メディアの力に感謝いたします。

※自己評価 【A】

【理由】

- ・観光客の増加
- ・「ユニバーサルツーリズム」周知効果大
- ・観光と医療・福祉連携効果大

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、本年度の事業効果を、他地域(特に首都圏)に展開するための取り組みが重要になる。長野県のホームページなどで、「地域トラベルサポーター」の活躍を発信すること、首都圏の有料老人ホーム、障害者支援施設などに PR するなど広報活動が必要になる。併せて、観光受地側の「ユニバーサルツーリズム」アレルギーを大胆に解消させる努力が重要である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある